

ヤナギヌカボを富山県のフロラに追加する

著者	中川 定一, 太田 道人
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	27
ページ	73
発行年	2004-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=807

短 報

ヤナギヌカボを富山県のフロラに追加する*

中川 定一¹⁾・太田 道人²⁾

¹⁾能登の山を歩く会

²⁾富山市科学文化センター

**A New Record of *Persicaria foliosa* var.
paludicola to the Flora of Toyama Prefecture**

Teiichi Nakagawa
Noto Field Walking Club

Michihito Ohta
Toyama Science Museum

富山県のフロラに記録されていなかったヤナギヌカボを生育状況と共に記録する。

標本は富山市科学文化センター植物標本庫(TOYA)に収蔵されている。

ヤナギヌカボ (タデ科)

Persicaria foliosa (H. Lindb.) Kitag. var. *paludicola*
(Makino) Hara

富山県高岡市太田赤尾谷ため池

2002年10月30日 中川定一採集 TOYA 62551

2003年10月20日 中川定一採集 TOYA 57491

生育地はかんがい用のため池で、ヤナギヌカボの生育地点は池の上流側の浅瀬である。この浅瀬は平坦地となっており、かつての水田であったものと推定される。生育地点は、毎年4月～8月中旬までの間は完全に水没しており、8月下旬以降から池の水位が下がり、地表に現れる。ただし、大雨が降ると容易に冠水する環境にある。

本種を初めて採集したのは2001年11月8日であったが、このときの株は生長が悪かったために同定できなかった。同じ場所にはヌカボタデも生育している(太田,2002)が、両種とも、ここが富山県における唯一の現存地である。

環境省(環境庁自然保護局野生生物課, 2000)は、本種をヌカボタデと共に絶滅危惧Ⅱ類(VU)とし、

富山県(富山県生活環境部自然保護課, 2002)は、ヌカボタデを絶滅危惧としている。今回記録されたヤナギヌカボについては、富山県においてはヌカボタデと同等の扱いをするのが適当と考えられる。

参考文献

太田道人.2002.富山県新記録の植物16. 富山市科学文化センター研究報告25:133-136.

環境庁自然保護局野生生物課.2000.改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物8植物Ⅰ(維管束植物).660 pp.財団法人自然環境研究センター.

富山県生活環境部自然保護課.2002.富山県の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックとやまー. 352pp.富山県生活環境部自然保護課.